

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公表番号】特表2004-531426(P2004-531426A)

【公表日】平成16年10月14日(2004.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2004-040

【出願番号】特願2003-508595(P2003-508595)

【国際特許分類】

B 6 2 D 55/21 (2006.01)

B 6 2 D 55/205 (2006.01)

【F I】

B 6 2 D 55/21 Z

B 6 2 D 55/205 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成20年5月28日(2008.5.28)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

それぞれが第一の一对のトラックリンク（20、40）内で画定された外部ボス（22、42）および内部ボス（24、44）を有する第一の一对のトラックリンク（20、40）と、

それぞれが第二の一对のトラックリンク（30、50）内で画定された外部ボスおよび内部ボス（54）を有する第二の一对のトラックリンク（30、50）と、

第二のトラックリンク（30、50）を越えて延在しないように、第二のトラックリンク（30、50）それぞれの内部ボス（54）内へ回転しないように圧入された端部を有するブッシュ（60）と、

ブッシュ（60）内へ配置され、第一のトラックリンク（20、40）それぞれの外部ボス（22、42）を通して延在する中実トラックピン（62）であって、加締めにより該外部ボスに固定される中実トラックピン（62）と、

それぞれが、ブッシュ（60）の端部の一方と第一のトラックリンク（20、40）の外部ボス（22、42）の一方との間に挿入された一对のスラストリング（26、46）と、

トラックピンとブッシュとの間に配置されるグリースと、

スラストリング（26、46）の一つに隣接してそれぞれ配置され、かつ、それぞれがブッシュ（60）の端部の一方と第一のトラックリンク（20、40）の一方の外部ボス（22、42）との間に挿入された一对のせん断シールアセンブリ（27、47）であって、それぞれがブッシュの各端部を通してグリースが逃げないように作用する一对のせん断シールアセンブリ（27、47）を含み、

トラックピンは、前記加締めにより外部ボスへ固定されることによる軸方向の圧縮から解放され、第1のトラックリンクが第2のトラックリンクにロックされることがないトラックリンクアセンブリ（10）。

【請求項 2】

中実トラックピン（62）の各端部の外部表面上に画定された溝（41）をさらに含む装置であって、第一のリンク（20、40）の一つの外部ボス（22、42）からの素材

は中実トラックピン（６２）の溝（４１）内へ押し込まれて、外部ボス（２２、４２）を中実トラックピン（６２）へ加締める、請求項１に記載の装置。

【請求項３】

トラックリンクアセンブリ（１０）の組み立て方法であって、
スラストリング（２６、４６）およびシールアセンブリ（２７、４７）を第一のトラックリンク（２０、４０）の外部ボス（２２、４２）に隣接する空洞内に配置する工程と、
第二のトラックリンク（３０、５０）を越えて延在しないように、ブッシュ（６０）の端部を第二のトラックリンク（３４、５４）の内部ボス内へ圧入する工程と、
トラックピン（６２）上にグリースを配置することでトラックピンを潤滑する工程と、
ブッシュ（６０）と第一のトラックリンク（２０、４０）の外部ボス（２２、４２）を
介して、トラックピン（６２）を挿入する工程と、
トラックピンを予め圧縮する工程と、
トラックピン（６２）の端部を第一のトラックリンク（２０、４０）の外部ボス（２２、４２）へ加締める工程と、
トラックピンの端部を第１のトラックリンクの外部ボスに加締めて後、トラックピンの
予圧縮を解放する工程とを含む方法。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１３

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１３】

加締め工程により第一の左トラックリンク２０と第一の右トラックリンク４０から素材がトラックピン６２の溝２１、４１に押し込まれるので、トラックピン６２はほぼ矢印９９、１００の方向の軸方向に押し込まれることが分かる。この軸方向の圧縮により、第一のトラックリンク２０、４０を第二のトラックリンク３０、５０へロックする過剰な摩擦が発生する。第一のトラックリンク２０、４０が継続して第二のトラックリンク３０、５０にロックされないようにするために、ピン６２は、ほぼ矢印９９、１００の方向の軸方向に予め圧縮される。加締め工程が完了した後で、この軸方向の予圧縮は解放され、第二のトラックリンク３０、５０から第一のトラックリンク２０、４０をロック解除する。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１４

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１４】

図１Ａを参照するに、シール空洞２５は外部ボス２２付近の第一の左トラックリンク２０内に画定される。左スラストリング２６はシール空洞２５内に配置され、かつブッシュ６０と第一の左トラックリンク２０との間に内挿されて、ブッシュ６０の第一の左トラックリンク２０への動きは左スラストリング２６によって制限される。好ましくは、左シールアセンブリ２７は、左スラストリング２６付近のシール空洞２５内に配置されたせん断シール２８から構成される。左シールアセンブリ２７は、せん断シール２８から構成され、せん断シール２８は、ブッシュ６０の左端部６４により、トラックピン６２とブッシュ６０との間のグリースが逃げないように作用する。さらに、左シールアセンブリ２７は、ブッシュ６０に対してせん断シール２８を偏移させる負荷リング２９を含んでいる。左スラストリング２６により、軸方向予圧縮及び第一の左トラックリンク２０へのトラックピン６２の半径方向の加締め中に、左シール２７の圧縮が防止されていることが分かる。

【誤訳訂正４】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１５

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１５】

再度、図１を参照するに、シール空洞４５は、外部ボス４２付近の第一の右トラックリンク４０内で画定される。右スラストリング４６はシール空洞４５内に配置され、かつブッシュ６０と第一の右トラックリンク４０との間に内挿されて、ブッシュ６０の第一の右トラックリンク４０への動きは右スラストリング４６によって制限される。右シールアセンブリ４７は、右スラストリング４６付近のシール空洞４５内に配置される。右シールアセンブリ４７は、せん断シール４８から構成され、せん断シール４８は、ブッシュ６０の右端部６６により、トラックピン６２とブッシュ６０との間のグリースが逃げないように作用する。さらに、右シール４７は、ブッシュ６０に対してせん断シール４８を偏移させる負荷リング４９を含んでいる。右スラストリング４６により、軸方向予圧縮および第一の右トラックリンク４０へのトラックピン６２の加締め中に、右シール４７の圧縮が防止されていることが分かる。

【誤訳訂正５】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００１８

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００１８】

トラックピン６２はグリース塗布され、かつ第一の右トラックリンク４０の外部ボス４２、ブッシュ６０の中央部、および第一の左トラックリンク２０の外部ボス２２各々を介して挿入される。この時、中実トラックピン６２は、ほぼ矢印９９、１００の方向に予め圧縮される。第一の左トラックリンク２０はトラックピン６２の左端部に加締められ、一方、第一の右トラックリンク４０はトラックピン６２の右端部に加締められる。加締め工程中には、左スラストリング２６により左シールアセンブリ２７の圧縮が防止され、一方、右スラストリング４６により右シールアセンブリ４７の圧縮が防止される。トラックリンクアセンブリ１０を解除するには、トラックピン６２から予圧縮を解放する。

【誤訳訂正６】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図１

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 1】

